



- 新型コロナウイルス感染拡大の猛威に、不安な日々が続いています。本校園におきましては現在のところ、在籍者が新型コロナに感染したという情報などはございません。週開けの25日には、予定どおりに始業式を迎えることができると見込んでいます。
- ただし今後については、本校園においても感染拡大による非常事態が起きてしまうことも想定しておく必要があると考えています。
- 特に小学校においては、子どもたちの「学びの保障」を非常時にどのように図るのかは、本当に重大な課題であると考えています。
- この夏休みの期間、その「学びの保障」への備えとして、次の3つの取り組みを進めてまいりました。
ひとつめは「学習者用端末を家庭に持ち帰って、端末を活用した家庭での学習活動を実施する」こと、ふたつめは「リモート会議システムを活用して、学校・各家庭間での双方向リモート通信を行う」こと、みつめは「インターネット集計システムを活用して、学校・各家庭間での意見集約を行う」ことです。
- また今後に向けて「学習者用端末を活用した、リモートによるオンライン授業」を実際に行うことができるよう、「非常時を想定したオンライン授業の施行カリキュラム」を、できるだけ早い時期に各教室で行うための準備を進めているところです。
- 子どもたちの「学びの保障」については、対面での学習が引き続き実施していけるよう、感染拡大防止に最大限の努力を続けていく所存ですが、非常時にはすぐにオンライン授業に切り替えられる準備をしておくことも、備えとして必要であると考えています。
- 今、「子どもたちが安心して学ぶことができる環境づくり」をどのように実現していくのかを、私たち大人が本当に考えないといけない状況になっていることを、改めて実感しているところです。